

健康・食育かでな21アンケート
調査報告書

令和6年3月

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 実施主体	1
3. 調査対象者.....	1
4. 調査の方法.....	1
5. 調査期間	1
6. 調査項目	1
7. 配布・回収状況	2
8. 標本誤差について.....	2
9. 集計・表示について	3
II. 調査結果の報告	4
1. 回答者の基本的なことについて.....	4
(1) 性別（単一回答）	4
(2) 年齢層（単一回答）	4
(3) 職業（単一回答）	5
(4) 勤務時間帯（単一回答）	6
(5) 週の平均勤務日数（単一回答）	7
(6) 月の平均残業時間（単一回答）	8
(7) 帰宅時間（単一回答）	9
(8) 就寝時間（単一回答）	10
(9) 起床時間（単一回答）	10
(10) 家族構成（単一回答）	11
2. 地域、友人、知人との関わり	12
(1) 地域活動への参加の状況（複数回答）	12
(2) 近所との付き合い（単一回答）	14
(3) 健康への支援要望（単一回答）	17
3. 健康観・知識について	20
(1) BMI（身長・体重についてそれぞれ単一回答）	20
(2) 自分の体型（単一回答）	23
(3) 体型改善の取組（単一回答）	25
(4) 自分自身の健康観（単一回答）	27
(5) 血圧測定（単一回答）	30
(6) 体重測定（単一回答）	32
(7) ロコモティブシンドロームの認知度（単一回答）	34
(8) 腰痛・手足の関節痛（単一回答）	36
(9) COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度（単一回答）	37
(10) 肺炎球菌予防接種公費負担制度の認知度（単一回答）	40
(11) 健康診査・がん検診の受診状況（各設問とも単一回答）	40

(12)	健康診査・がん検診を受けていない理由（各設問とも単一回答）	47
(13)	ライフコースアプローチ（単一回答）	54
4.	食生活・栄養について	55
(1)	朝食（単一回答）	55
(2)	朝食を食べない理由（単一回答）	57
(3)	主食・主菜・副菜を3つ揃えて食べる程度（単一回答）	59
(4)	くだもの（単一回答）	62
(5)	甘いお菓子（単一回答）	64
(6)	甘い飲み物（単一回答）	66
(7)	夕食の時間（単一回答）	68
(8)	夕食後の間食（単一回答）	70
(9)	バランスの良い食事（単一回答）	72
(10)	そしゃく（噛むこと）の状況（単一回答）	74
(11)	栄養成分表示の参考の有無（単一回答）	76
(12)	食生活で気になっていること（複数回答）	78
5.	食育について	80
(1)	食育の周知状況（単一回答）	80
(2)	食育の日の周知状況（単一回答）	82
(3)	食育月間の周知状況（単一回答）	82
(4)	家族や仲間との食事（単一回答）	83
(5)	食べたことがある郷土料理や伝統食の種類（単一回答）	85
(6)	作ることのできる郷土料理や伝統食の種類（単一回答）	87
(7)	伝統行事（単一回答）	89
(8)	甘藷（さつまいも）の歴史の認知度（単一回答）	92
(9)	食育イベントの参加状況（複数回答）	92
(10)	食育イベントの参加希望（複数回答）	94
(11)	「食改さん」の認知度（単一回答）	95
(12)	町民農園の認知度（単一回答）	96
(13)	産地・生産者の観点での食品選定（単一回答）	96
(14)	環境配慮の観点での食品選定（単一回答）	97
(15)	廃棄食品への意識（単一回答）	97
(16)	食品ロス削減の取組（単一回答）	98
(17)	食の安全性に関する知識（単一回答）	98
(18)	各食育の取組の満足度・重要度（単一回答）	99
6.	身体活動・運動について	100
(1)	身体活動の意識と実行（単一回答）	100
(2)	適度な運動の有無（単一回答）	102
(3)	適度な運動の頻度（単一回答）	106
(4)	町の運動施設の利用状況（単一回答）	109
(5)	運動を始めたきっかけ（複数回答）	111

(6)	運動しない理由（単一回答）	113
(7)	座位行動のリスク（単一回答）	115
(8)	座位行動を減らす取組（単一回答）	115
7.	休養・こころの健康づくり	118
(1)	睡眠時間（単一回答）	118
(2)	睡眠による休養（単一回答）	120
(3)	普段の疲れの感じ方（単一回答）	123
(4)	悩みやストレス（単一回答）	125
(5)	悩みやストレスの内容（複数回答）	127
(6)	周りにいる人（単一回答）	130
(7)	うつ病の周知状況（単一回答）	134
(8)	相談先＜公的機関・医療機関＞の周知状況（単一回答）	136
8.	歯の健康について	138
(1)	歯の本数（単一回答）	138
(2)	歯みがきの頻度（単一回答）	140
(3)	歯間ブラシやフロスの使用状況（単一回答）	142
(4)	フッ素（フッ化物）利用の有無（単一回答）	145
(5)	歯科健診や歯の治療の有無（単一回答）	147
(6)	歯科健診や歯の治療の内容（複数回答）	149
(7)	歯科健診を受けていない理由（単一回答）	151
(8)	歯周疾患検診助成（単数回答）	151
(9)	助成の情報源（複数回答）	152
9.	アルコールについて	153
(1)	適度な飲酒量（単一回答）	153
(2)	飲酒の有無（単一回答）	155
(3)	飲酒の頻度（単一回答）	157
(4)	1回あたりの飲酒の量（単一回答）	159
(5)	飲酒の場所（単一回答）	162
(6)	お酒を飲む相手（単一回答）	164
10.	たばこについて	167
(1)	喫煙状況	167
(2)	禁煙の意思（単一回答）	170
(3)	喫煙時に気を付けていること（複数回答）	172
(4)	受動喫煙の認知度（単一回答）	173
(5)	受動喫煙で気を付けていること（単一回答）	175
(6)	たばこが身体に与える影響（複数回答）	177
(7)	たばこの健康への影響（複数回答）	178
(8)	たばこ対策として重要なこと（複数回答）	179
11.	デジタル技術の活用について	180
(1)	デジタル技術の活用（複数回答）	180

(2) 健康増進への効果（複数回答）	181
資料編（自由回答一覧）	182
調査票（20歳以上用）	206
調査票（16歳～19歳用）	210
過去調査との経年比較	214

I. 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、町民の健康寿命を延ばし、活力ある社会を築くために、平成26年3月に策定した第2次健康増進計画・食育推進計画「健康・食育かでな21」の見直しと、次期計画策定のための基礎資料を得ることを目的に実施しました。

2. 実施主体

嘉手納町役場町民保険課

3. 調査対象者

嘉手納町に住所を有する16歳～79歳の方の中から、地区、性別、年齢のバランスに配慮して5,126人を無作為に抽出し、調査対象者となりました。

4. 調査の方法

アンケートは紙とWebにて実施し、紙媒体の調査票に関しては郵送により配布した上で、同封した返送用封筒を使用して回収を行いました。

5. 調査期間

令和6年1月22日～令和6年2月9日

6. 調査項目

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">①回答者の基本的なことについて②地域、友人、知人について③健康観・知識について④食生活・栄養について⑤食育について⑥身体活動・運動について⑦休養・こころの健康づくりについて⑧歯の健康について⑨アルコールについて⑩たばこについて⑪デジタル技術の活用について |
|---|

7. 配布・回収状況

調査票の配布数 5,126 件に対して、回収数は 1,098 件で回収率は 21.4%となります。(うち紙媒体の調査票での回答は 891 件、Web での回答は 207 件。)

地区	配布数	有効回収数	回収率(%)
東区	1,140	226	19.8
中央区	628	146	23.2
北区	695	169	24.3
南区	507	112	22.1
西区	705	151	21.4
西浜区	1,451	288	19.8
不明	—	6	—
計	5,126	1,098	21.4

8. 標本誤差について

調査票の有効回収数は、母集団に対し、どの程度の誤差を持つかによって決まります。母集団を推定する際のサンプル数(有効回収数)とのずれの大きさ(標本誤差率)は、下式によって求められます。

$$\text{標本誤差率} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \times \pm 1.96 \times 100\%$$

N = 母集団の大きさ(調査対象となる 15 歳~79 歳の人口)

n = サンプルの大きさ (ここでは有効回収数とする)

P = 回答率(通常は 0.5 を用いる)

± 1.96 = 標準化補正值

N	n(有効回収数)	P	標本誤差率
9,718	1,098	0.5	2.79

N(母集団)：令和 5 年 2 月 28 日現在の 15 歳~79 歳の人口

一般的に、許容できる標本誤差率の範囲は 3%程度の範囲までと言われており、今回の調査の有効回収数は 1,098 件で、標本誤差率は ± 2.79 となりますので、回収件数として問題はないと考えられます。

9. 集計・表示について

- (1) 集計は①単純集計、②回答者の属性とのクロス集計、③設問間のクロス集計を行いました。
- (2) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため比率を合計しても100.0%とならないことがあります。
- (3) 複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての回答者の実数を基礎とし、比率算出を行っています。このため、比率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 沖縄県の調査(「令和3年度県民健康・栄養調査」)と設問項目が一致するものについては、沖縄県の調査結果と比較しています。また、設問項目が類似しており、一定程度の比較が可能な設問についても、参考値として沖縄県の調査結果を掲載しております。
- (5) クロス結果の図表については、帯グラフ以外では「無回答」を除いて表示しています。また、沖縄県との比較では、「無回答」を除いた人数で比率を算出し、比較しています。
- (6) 平成25年、平成30年において実施した町民アンケートと比較可能な設問に関しては、経年比較結果を掲載しております。掲載にあたっては、対象を20歳~65歳に揃えて集計しております。